

三心を磨く

学校だより NO. 6
令和元年 5月29日(水)発行
須坂市立東中学校
文責：金井勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇東中学校の伝統「魂を込めた応援」～応援は人数ではない～◇◇

今年度も応援団が結成され、2年生が全面に立ち、令和元年度の応援練習がスタートしました。

4月の半ばより、3年の先輩たちから「エール」や「振り」を学び、新しい応援団員が覚えます。大きな声で潔い「東魂のエール」、そして洗練された「伝統の振り」を、休み時間を使って何度も何度もくり返し、その動きやタイミングをようやくものにした2年生、3年生から東中学校の伝統として引き継いだ応援を「つなぎ」ます。

それからさらに学年練習をくり返し、自信をもった新応援団は、1年生の教室へと向かい、「先輩」として、「応援の仕方」を1年生に指導・伝授します。これが東中の「縦」の関係、応援の伝統を「つなぐ」姿です。自分たちの応援にポリシーをもち、応援を「かっこいいもの」として体感し1年生に



「2年生の応援団、汗をかきながら…」

つないでいくのです。東中ならではの世界です。

そして5月下旬、郡大会まであと2週間余りとなりました。1・2年生の応援練習にも力が入り始め、「もっと大きな声が出るよ」「拍手の音もまだまだ小さい」「気持ちが顔に出てるよ」などさらなる高見をめざした応援へと追究している今日この頃です。

1年生もそんな応援団や2年生の先輩たちが醸し出す空気を感じています。人数の上では1年生の方が10人ほど多いのですが、声や拍手の大きさは断然2年生が上、その姿に学びます。



「全員が気持ち『魂』を込めて…」

真剣な練習がくり返される中で、次第に1年生の声や拍手も大きくなり、迫力が出てきました。壮行会までまだ日があります。応援は、さらに進化して行きそうです。楽しみでなりません。

3年生を中心とした選手の皆さんの健闘を、1・2年生たちが一丸となって支えています。この夏季大会においても、「東旋風」を巻き起こしてほしいです。

◇どの教室も下駄箱も、そして傘立てまでも…「美しい学校②」◇



「N0.5」号の三心自立で、「整然とした掲示物」の美しいことをお伝えしましたが、今回はその他の美しい世界、「美しい学校の姿」をお伝えしたいと思います。

写真は、「2年1組の放課後の教室」です。本当に美しいです。机がピシッとそろい、ゴミなどはまったく落ちていません。この状態が毎日続いていること、この姿が本当に素晴らしいです。そして、裏面の右上の写真です。

これは「2年2組の放課後の教室」です。この教室も毎日この姿、とても美しいです。ロッカーの中まで整頓されているこの教室です。放課後の段階で、明日の準備が完了している教室、美しい世界がそこにあります。

今回は「2学年」の教室を取り上げましたが、今年度ほどの学年も教室が整理整頓されています。素晴らしいです。

「教室の落ち着きは、生徒の落ち着きに通じる」と言われます。まさに今の「東中学校の姿」に他なりません。

これからも「美しい学校」の姿を見つけ紹介いたします。



◇ 1・2学年は中間テスト、3学年は総合テストが行われました ◇

5月24日（金）、1・2年生は「中間テスト」、3年生は「総合テスト」がそれぞれ行われました。テストを終えた生徒たち、ご自宅ではどのような反応でしたでしょうか？

今回のテスト、1年生にとってはこれが初めての定期テストであり、2年生にとっては、進級してからの2ヶ月間を振り返るテストとなり、そして3年生にとっては範囲の広い「総合テスト」の始まりとなりました。



テストの3日間から部活動は「なし」とし、東中では「補習」と題して学習の仕方を指導したり、「プレテスト」を行ったりしてテストの雰囲気作りやテスト勉強の仕方も指導しています。生徒たちは、このような雰囲気についていつもとはちょっと違って少々緊張した面持ち。しかし、それぞれの目標に向かって努力できる、頑張る姿も多くみられました。そして当日、1年生の教室をのぞいてみると、やはり緊張していました。

【テスト勉強をする生徒の姿から…】

しかし、この緊張感は必ず「よい経験」となります。そしてこの経験は必ず生かされ、役立つはずですが、それを知ってか知らずか3時間目辺りになると1年生もテストに慣れ、教室はシャープペンシルを走らせる音に支配されていました。

東中には「テスト日課」があります。朝から3教科テスト（行間15分間）をしたら「給食」、そして2教科（行間15分間）となっていて、これは長野県高校入試の日課と一緒です。早い段階から入試の日課に慣れてほしいという願いがあります。

テストが終わりました。廊下からは「終わったあ〜」「部活ができる、やったあ〜」「終わったことは忘れようお〜」など、生徒たちの声が聞かれ、思わず笑ってしまいました。生徒たちは開放感に包まれていました。

中間テストは終わりましたが1ヶ月後の6月27日（木）には期末テストが行われます。よく「テストの終わりは、テストの始まりである」と言われますが、気をぬかないで良い準備ができればと思います。

また、返却されたテストからは、そのテスト範囲における「本人の理解の状況」が明らかとなります。



【一人ひとり手渡しでテストが返却されて】

「○か？×か？」「得点が何点だったのか」も大切なことですが、「自らの誤答から学ぶ」ことがとても重要です。「どんなミスをしているのか？」「なぜ、間違えたのか？」を明らかにするテスト後の復習が、これからの成長には不可欠となるからです。テストが終わってからの学習が、真の理解につながりますのでご家庭でも言葉がけ・応援をお願いいたします。